

2005 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に 当科において鼠径ヘルニア精系水瘤の治療を受けられた方及びご家族の方へ

—「小児鼠径ヘルニア・精系水瘤に対する LPEC 法の成績」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学小児外科学 講師 久山寿子
研究分担者 川崎医科大学小児外科学 教授 曹英樹
川崎医科大学小児外科学 准教授 吉田篤史

1. 研究の概要

小児鼠径ヘルニアの治療は主に鼠径部切開による経鼠径法が行われてきました。1997 年に腹腔鏡手術である LPEC 法が開発され、現在では日本で標準術式になっています。当科では 2005 年より本術式を採用しており、その長期成績を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2005 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院小児外科において鼠径ヘルニア・精系水瘤の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において鼠径ヘルニア・精系水瘤の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに再発を含む合併症率や再手術、対側発症のデータを収集し、成績について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、既往歴、手術記録、合併症等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学小児外科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学附属病院 小児外科

氏名：久山寿子

電話：086-462-1111 内線 26511（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-464-1192

E-mail: pedsurg@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究は学内研究費を用いて行います。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。